

「証券化市場の動向調査」

～2008 年度の発行動向～

以下は、日本証券業協会及び全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2008 年度（2008 年 4 月～2009 年 3 月）の結果を取り纏めたものです。

図表データについては、別紙をご参照ください。また、参考として、『証券化市場の動向調査』における項目毎の記載割合」を取り纏めています。

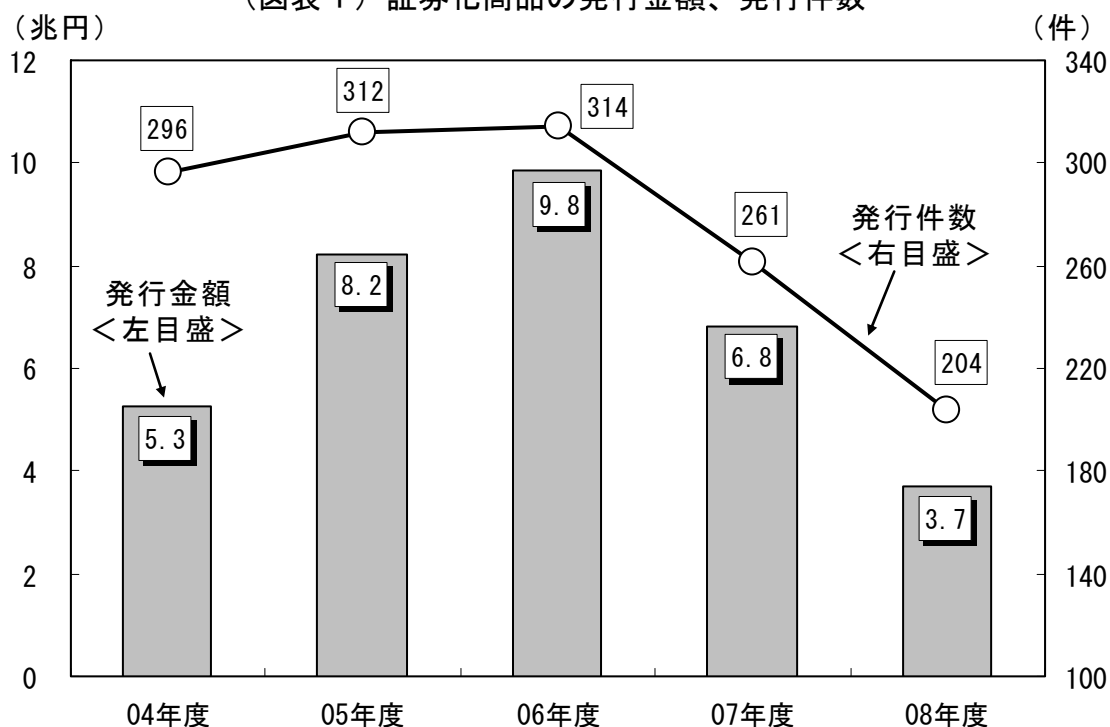
1. 証券化商品全体の発行動向

2008 年度における証券化商品の発行金額は 3.7 兆円※となり、調査開始（04 年度）以来最小の規模となった（図表 1）。

件数ベースでも、08 年度（204 件）は調査開始以来最小となった。

※ 08 年度における普通社債の発行金額（9.6 兆円）を大幅に下回った。

（図表 1）証券化商品の発行金額、発行件数

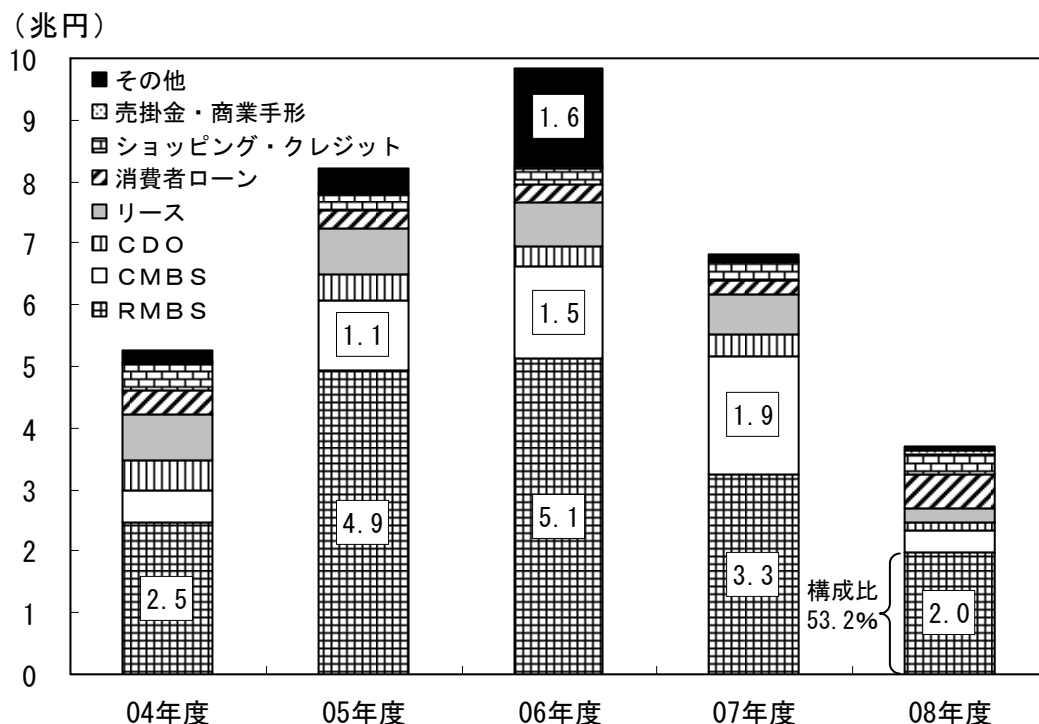


2. 裏付資産別の発行動向

2008 年度における証券化商品の発行金額を「裏付資産」別にみると、住宅ローン債権等を裏付資産とした「RMBS (Residential Mortgage Backed Securities)」が 2.0 兆円と最も多く、全体の 53.2%を占めた（図表 2）。

前年度との対比では、商業用不動産担保ローン債権等を裏付とした「CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)」が▲1.5 兆円減少した（07 年度 1.9 兆円→08 年度 0.4 兆円）ほか、RMBS も▲1.3 兆円減少した（同 3.3 兆円→2.0 兆円）。

（図表 2）証券化商品の発行金額（「裏付資産」別）※



※ 裏付資産の具体的な分類は、以下のとおり。

「RMBS」：住宅ローン債権、アパートローン債権

「CMBS」：商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産

「CDO (Collateralized Debt Obligations)」：企業向け貸付債権、社債、CDS等

「リース」：リース料債権

「消費者ローン」：消費者ローン債権、カードローン債権

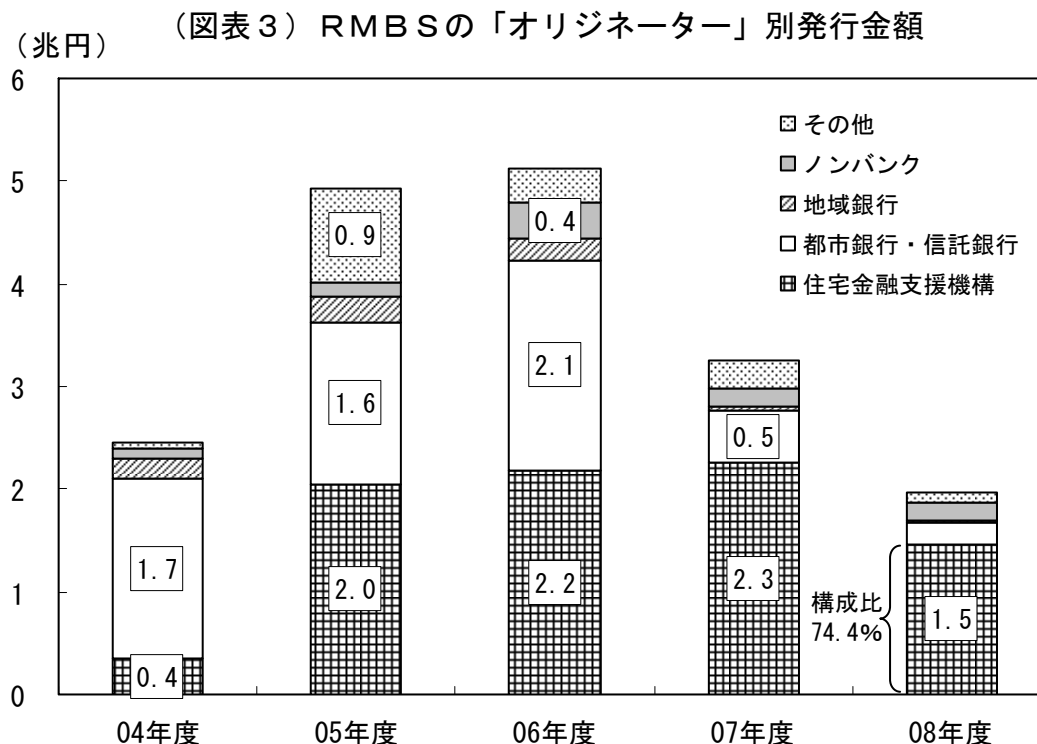
「ショッピング・クレジット」：ショッピング・クレジット債権、オートローン債権

「売掛金・商業手形」：売掛債権、手形債権

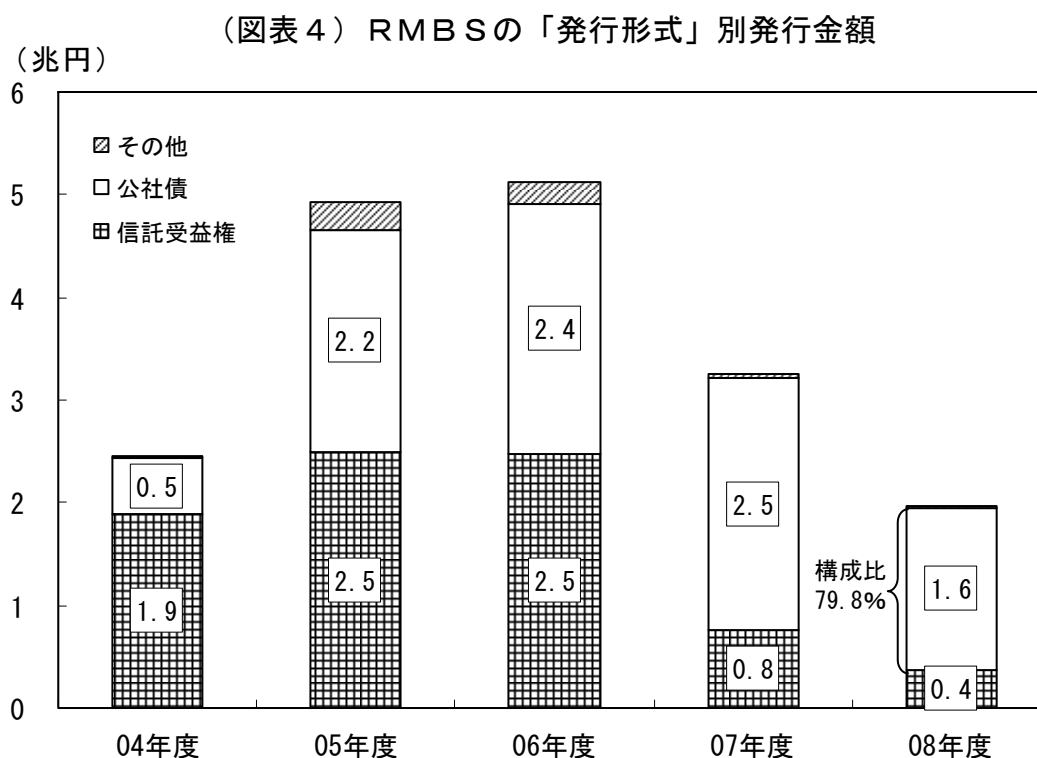
「その他」：事業キャッシュフロー、診療報酬債権等

(1) RMBS

- ・ RMBSの発行金額（2.0兆円）を「オリジネーター」別にみると、「住宅金融支援機構」（1.5兆円）が最も多く、全体の74.4%を占めたが、前年度（2.3兆円）との対比では▲0.8兆円の減少となった（図表3）。また、「都市銀行・信託銀行」（0.2兆円）も、前年度（0.5兆円）対比▲0.3兆円の減少となった。

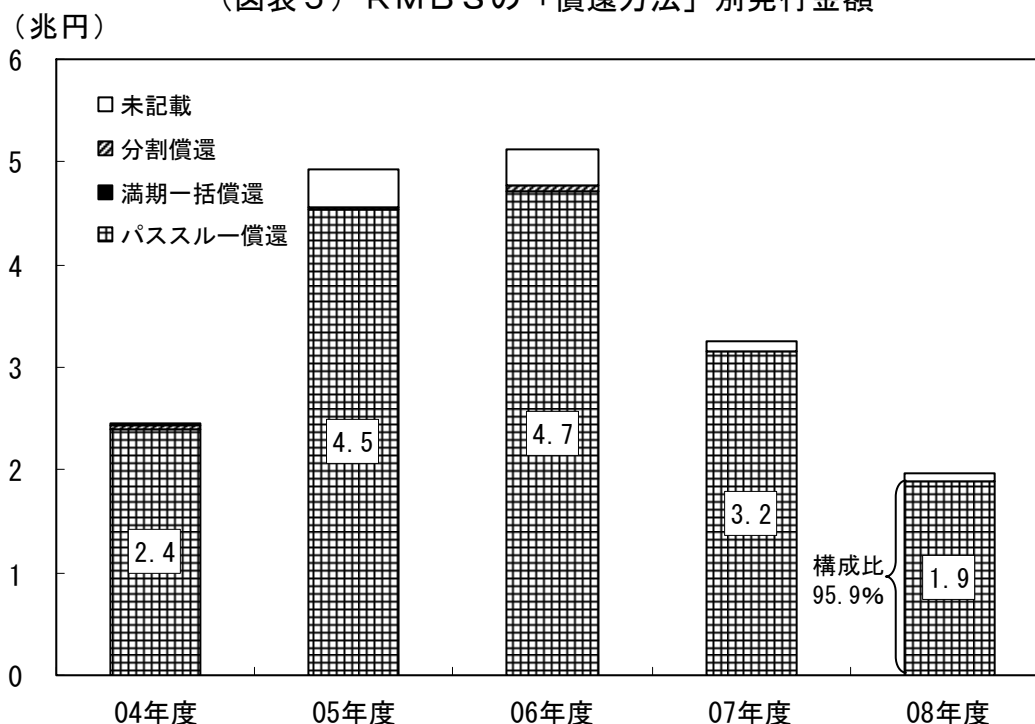


- ・ RMBSの発行金額（2.0兆円）を「発行形式」別にみると、「公社債」（1.6兆円）が最も多く、全体の79.8%を占めたが、前年度（2.5兆円）との対比では▲0.9兆円の減少となった（図表4）。「信託受益権」（0.4兆円）も、前年度（0.8兆円）対比▲0.4兆円の減少となった。



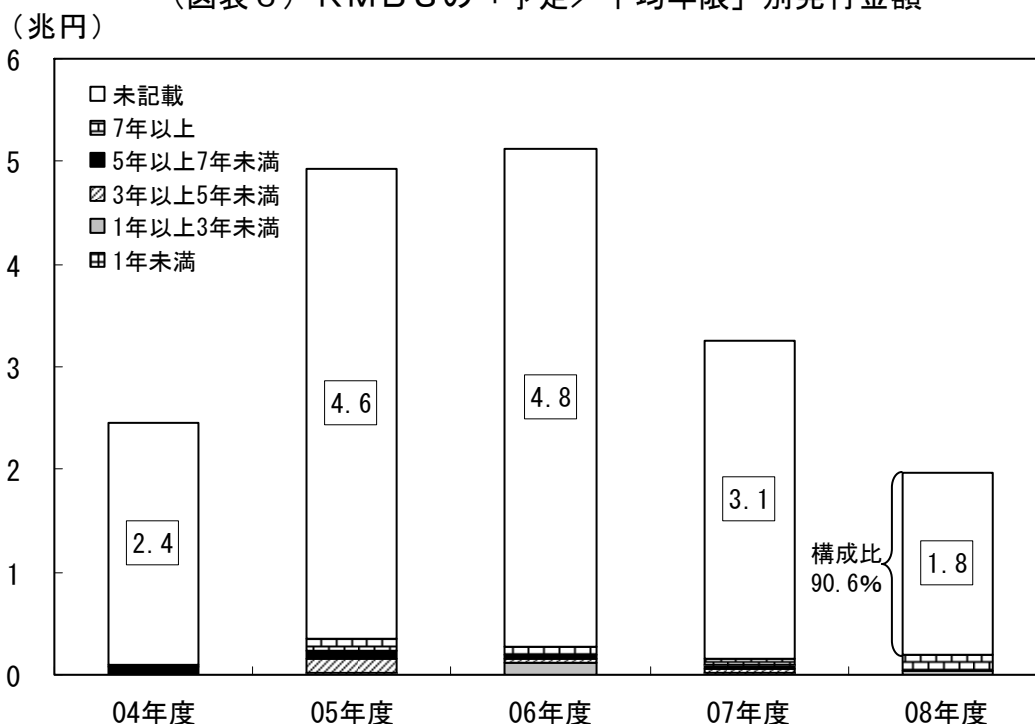
- ・ RMBSの発行金額（2.0兆円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還（裏付資産の回収実績に連動して元本が償還される）」（1.9兆円）が全体の95.9%を占めた（図表5）。

（図表5）RMBSの「償還方法」別発行金額



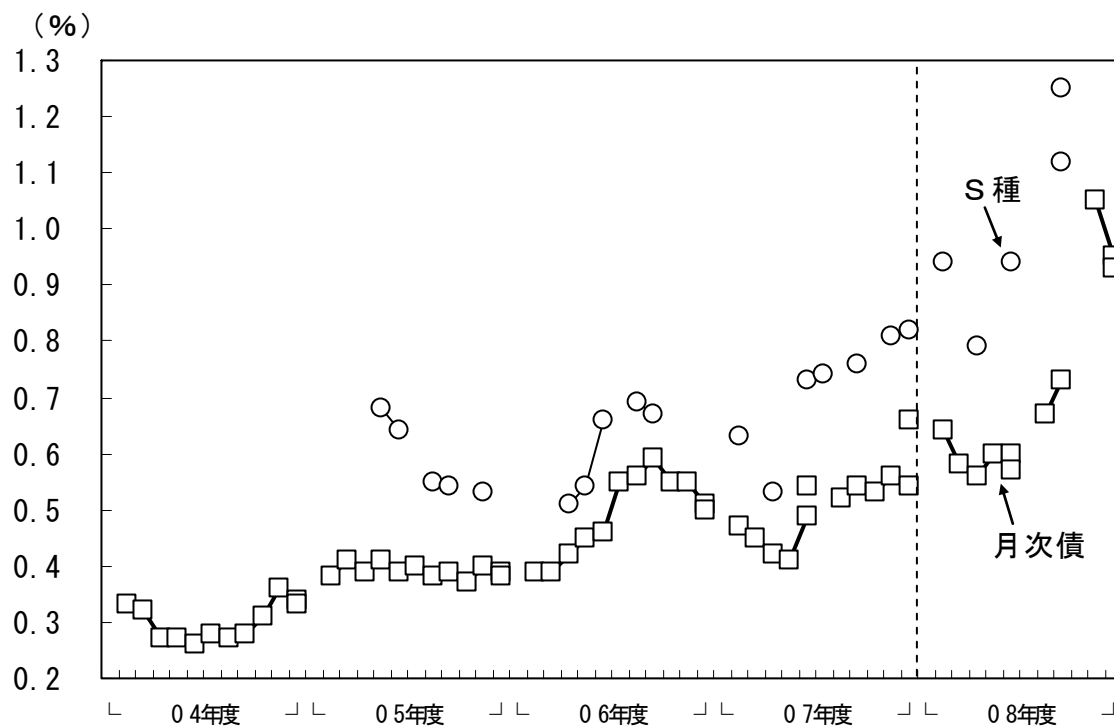
- ・ RMBSの発行金額（2.0兆円）を「予定／平均年限（満期一括償還の場合は予定償還年限。分割償還が行われる場合は平均償還年限）」別にみると、「未記載」（1.8兆円）が全体の90.6%を占めたが、記載のあるなかでは、「7年以上」（0.1兆円）が最も多くなった（図表6）。

（図表6）RMBSの「予定／平均年限」別発行金額



- ・ 住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）RMBSのローンチスプレッド（表面利率と、条件決定時の国債利回りとの差）をみると、2008年度は拡大基調を辿った（図表7）。

（図表7）住宅支援機構（旧住宅金融公庫）RMBSのローンチスプレッド

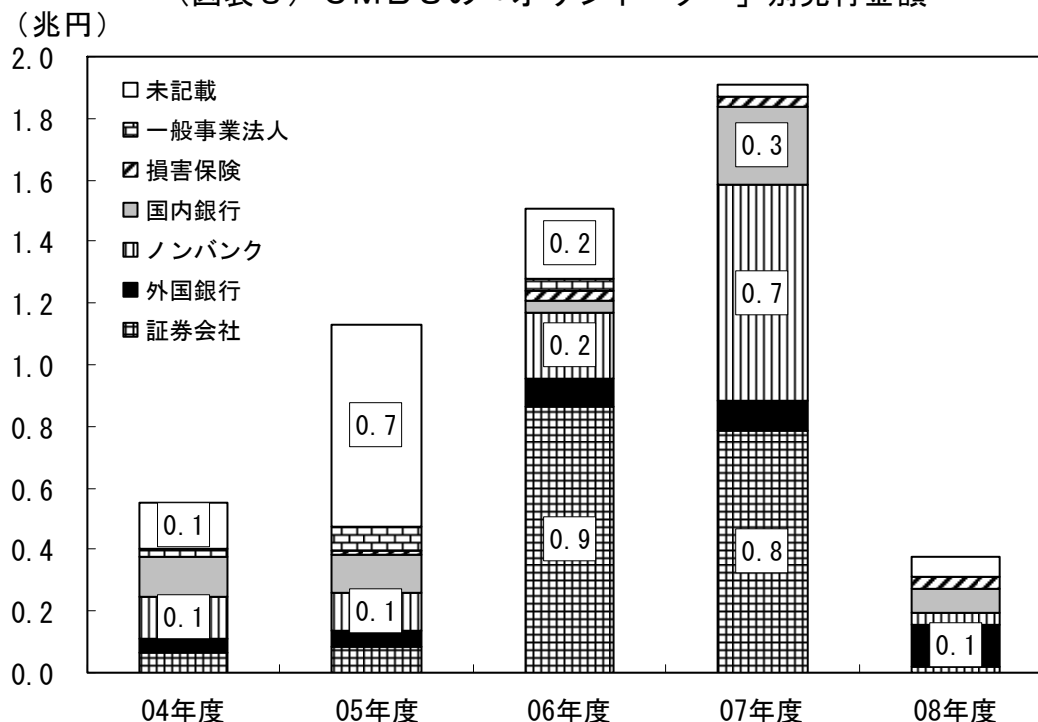


※「S種」は、旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化した債券。

(2) CMBS

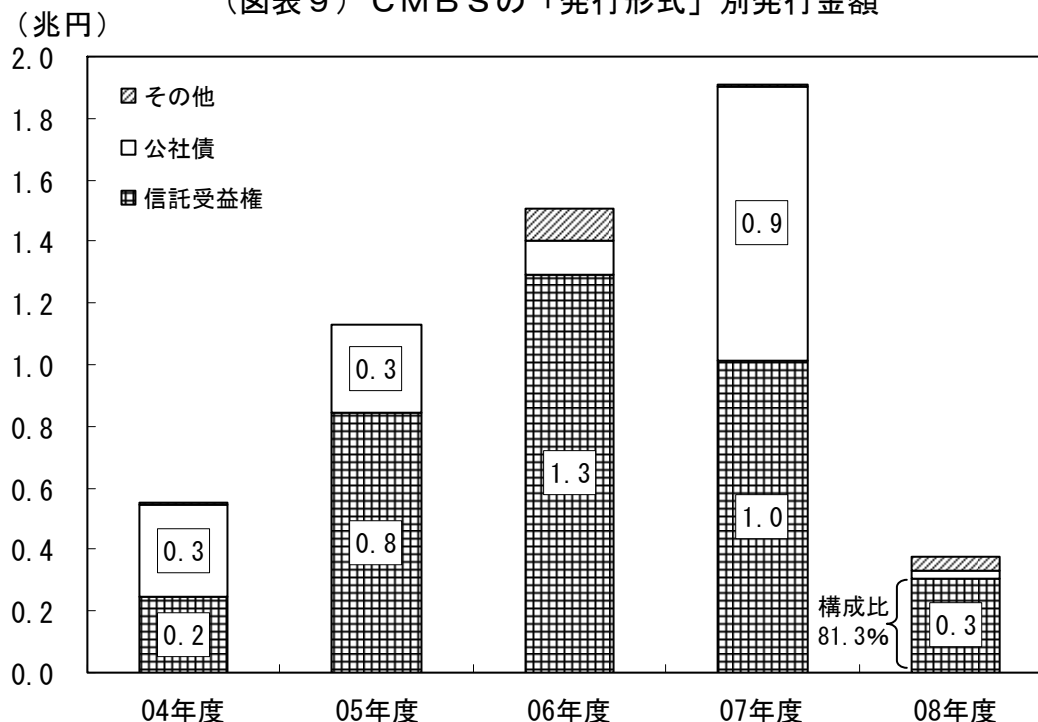
- CMBSの発行金額（0.4兆円）を「オリジネーター」別にみると、「外国銀行」（0.1兆円）が最も多くなった（図表8）。前年度との対比では、「証券会社」（07年度0.8兆円→08年度0.0兆円＜▲0.8兆円＞）、「ノンバンク」（同0.7兆円→0.0兆円＜▲0.7兆円＞）がともに大幅な減少となった。

（図表8）CMBSの「オリジネーター」別発行金額



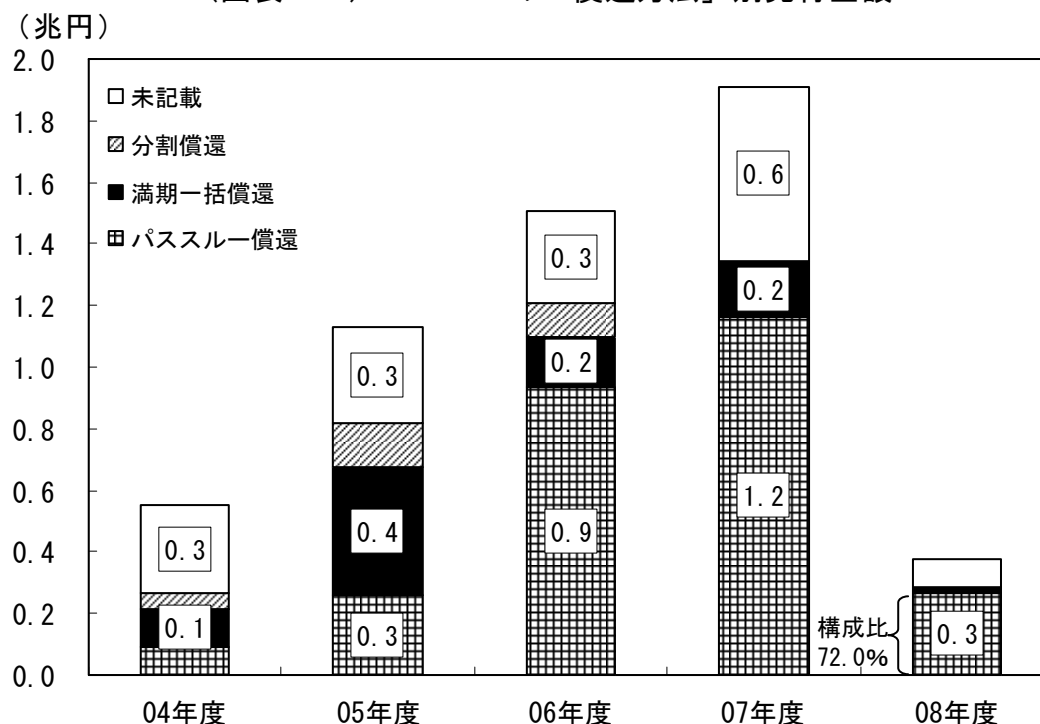
- CMBSの発行金額（0.4兆円）を「発行形式」別にみると、「信託受益権」（0.3兆円）が最も多く、全体の81.3%を占めたが、前年度（1.0兆円）との対比では▲0.7兆円の減少となった（図表9）。「公社債」（0.0兆円）も、前年度（0.9兆円）対比▲0.9兆円の減少となった。

（図表9）CMBSの「発行形式」別発行金額



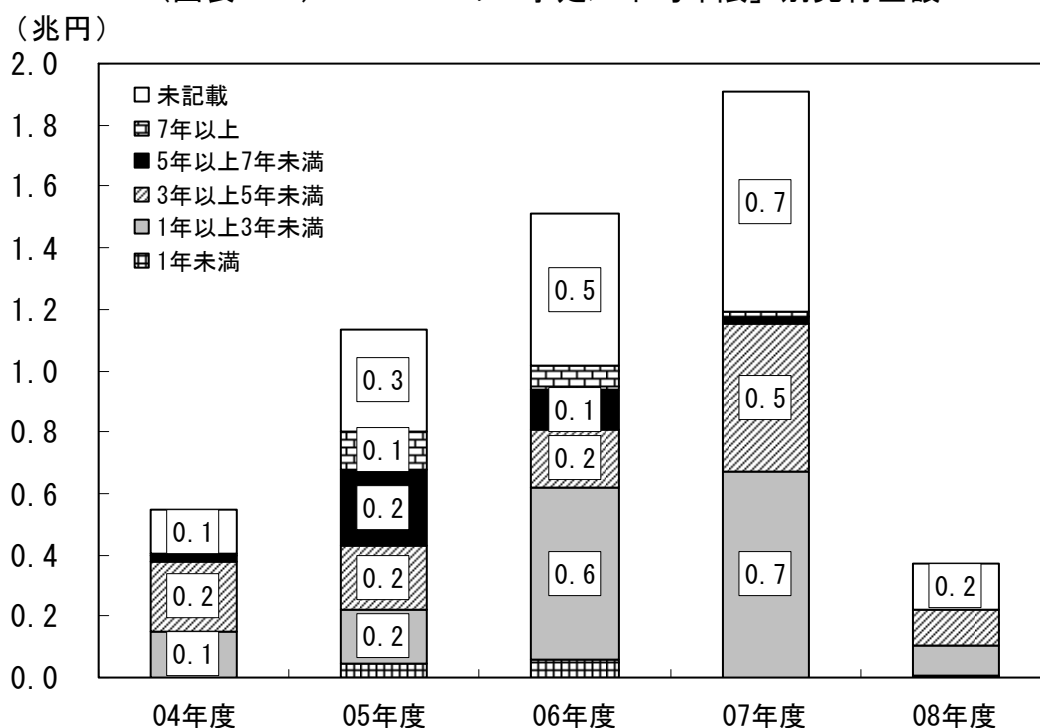
- ・ CMBSの発行金額（0.4兆円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が0.3兆円と最も多く、全体の72.0%を占めた（図表10）。

（図表10）CMBSの「償還方法」別発行金額



- ・ CMBSの発行金額（0.4兆円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」（0.2兆円）が最も多いが、記載のあるなかでは「1年以上3年未満」（0.1兆円）、「3年以上5年未満」（0.1兆円）が多くなった（図表11）。

（図表11）CMBSの「予定／平均年限」別発行金額

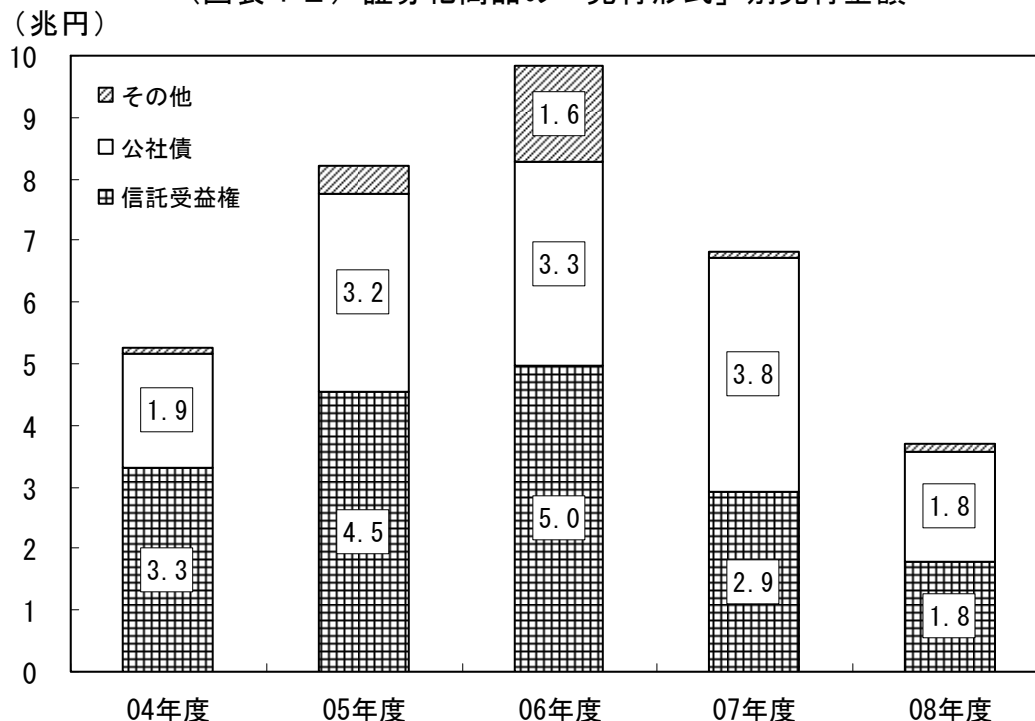


3. 発行形式別の発行動向

- ・ 2008 年度における証券化商品全体の発行金額（3.7 兆円）を「発行形式」別にみると、「公社債」が 1.8 兆円※、「信託受益権」が 1.8 兆円となった（図表 1 2）。

※ うち住宅金融支援機構（旧住宅金融公庫）RMBS が 1.5 兆円。

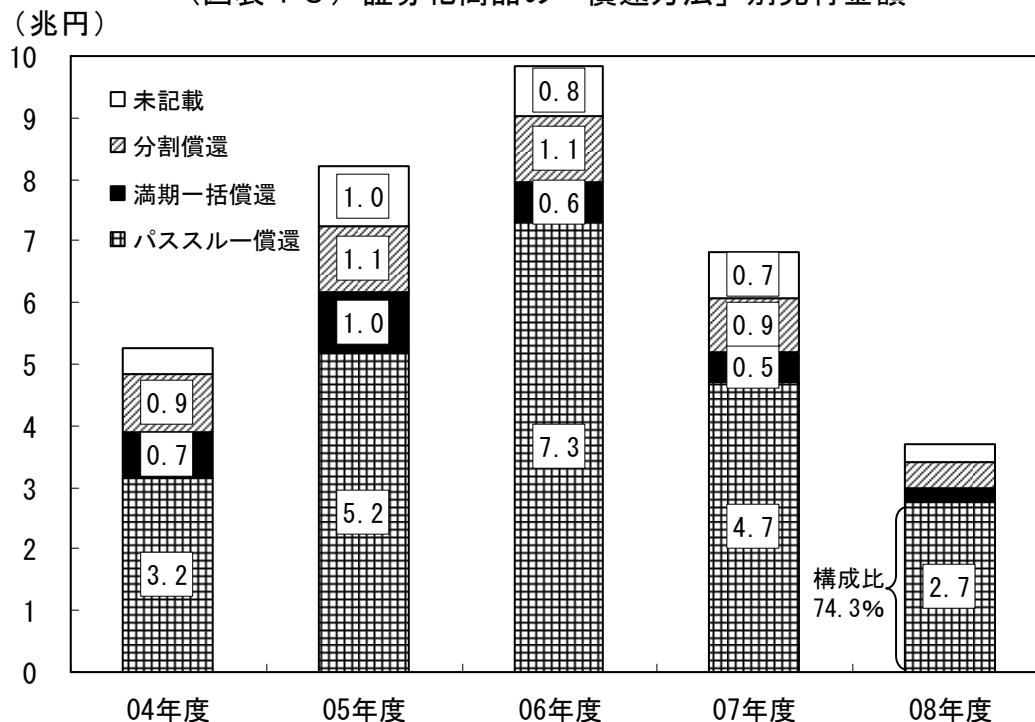
（図表 1 2）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

- ・ 2008 年度における証券化商品全体の発行金額（3.7 兆円）を「償還方法」別にみると、「パススルー償還」が 2.7 兆円と全体の 74.3%を占め、次いで「分割償還」（0.4 兆円）、「未記載」（0.3 兆円）、「満期一括償還」（0.2 兆円）となった（図表 1 3）。

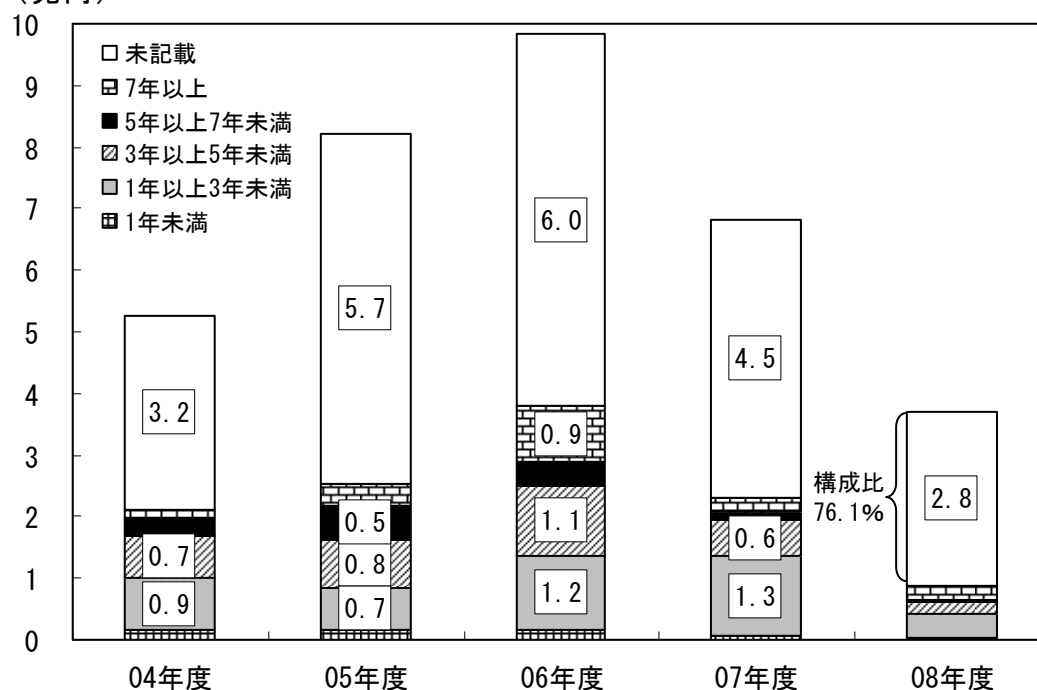
（図表 1 3）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

- 2008 年度における証券化商品全体の発行金額（3.7 兆円）を「予定／平均年限」別にみると、「未記載」が 2.8 兆円と全体の 76.1%を占めたが、記載のあるなかでは、「1 年以上 3 年未満」が 0.4 兆円、「7 年以上」が 0.2 兆円となった（図表 1 4）。

（図表 1 4）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

- 2008 年度における証券化商品全体の発行金額（3.7 兆円）を「格付」別にみると、「A A A」が 3.0 兆円と全体の 80.4%を占めた（図表 1 5）。

（図表 1 5）証券化商品の「格付」別発行金額

